

令和6年度 第3回理事会 審議詳細

令和7年1月14日 14:00～ 神戸商工貿易センタービル 26階

3 議事

- (1) 経営委員会について
特記事項なし

- (2) 令和6年度公益財団法人兵庫県スポーツ協会表彰について
小林理事

別冊資料に記載の優秀選手賞（国際大会）受賞者である「坂本花織」の競技大会を、最上位の大会である「ISU2024 フィギュアスケート世界選手権」に変更をお願いします。

4 報告事項

- (1) 第78回国民スポーツ大会の成績及び第79回国民スポーツ大会の日程について
今井理事長

別紙資料の10ページに第78回国民スポーツ大会の入賞競技団体一覧が記載されています。その中の競技の関係者が出席されていますので、「なぎなた」、「陸上競技」、「アーチェリー」、「バレーボール」の順で本大会の感想をお聞きたいと思います。

杉本副会長（なぎなた）

この度、男女総合3位という結果を残すことができました。皆様の温かい応援が、大きな力となりましたことを心より感謝申し上げます。これまであまり面識のなかった先生方にも多数応援に駆けつけていただき、大変心強く感じました。強化については、大会直前まで選手が決まらず、ぎりぎりの準備となりましたが、それを乗り越えられたのも皆様のサポートのおかげです。また、費用面で厳しい状況にも関わらず、会計担当が尽力してくれたことにも感謝しております。

改めまして、皆様の応援が私たちの原動力となりました。本当にありがとうございました。

松本理事（陸上競技）

陸上競技大会では、国スポ前の選手選考において90点から110点の間になると予想しておりましたが、結果は101点となりました。先程の動画にもあり

ました「男女混合マイルリレー」では、最終種目で大会新記録を樹立し、他県を引き離して優勝することができました。特に、本県は選手の大半が高校2年生でありながら、社会人選手を含む他県の強豪チームを抑えての勝利で、今後のさらなる活躍が期待されます。

本大会では、31 種目にエントリーし、そのうち 18 種目で 8 位入賞を果たし、入賞率は 50%を超えました。この結果からも、選手たちが大いに努力を重ねたことがうかがえます。

今後の課題として、本県では中学・高校・大学で選手が活躍している一方で、社会人選手が競技を続けられる環境が十分に整っていない現状があります。しかし最近では、(株)籠谷がチームを結成し、選手が競技を続けられる環境を提供しています。我々協会としても、こうした取り組みを支援し、選手たちが競技を継続できる体制づくりに取り組む必要があると考えています。

辰馬副会長（アーチェリー）

当連盟を一昨年からお手伝いするようになり、久しぶりにアーチェリーに携わることとなりました。鹿児島と佐賀で開催された国スポを観戦し、佐賀国スポでは選手の頑張りとお客の応援のおかげで、成年女子と少年男子が得点を獲得することができました。

成年女子と少年女子は昔から安定して好成績を収めていますが、成年男子と少年男子は成績に波があり、安定しない印象があります。それでも佐賀国スポでは、高校3年生の少年男子2名が活躍してくれたので、大学生となる来年以降も頑張ってくれることを期待しています。

課題については、まだ深く把握していない部分もありますが、他県の監督やコーチと情報交換をする中で、強豪県では幼少期から競技に触れられる環境が整っていることを知りました。特に、広島県や愛知県、近畿では京都府や滋賀県などでは、オリンピックや世界選手権レベルの選手が練習場で身近に存在し、その技術を間近で学び、場合によっては直接指導を受けることができる環境が整っています。一方、兵庫県の環境はそれらと比べると少し遅れていると言えますが、他県から見た本県の印象として、「熱い指導者がいる」という強みもあると聞いています。当連盟としても、この強みを活かし、指導者の育成にどのように取り組むかを検討していきたいと考えています。

私自身、過去 10 年間、選手として活動してきた経験があります。現在は「支える」「後押しする」立場となり、今後は競技力向上を目指し、選手たちを全力で支える活動に注力していきたいと考えています。

小野理事（バレーボール）

今回、成年女子と少年女子でそれぞれ 5 位という成績を収めることができました。成年女子については、近畿地区から 1 チームしか出場できないため、出場自体が大変困難です。しかし今年は、滋賀県の東レが主力メンバーを外したこともあり、出場することが叶いました。本大会ではくじ運にも恵まれ、さらに成年女子チームであるヴィアーレ兵庫（ヴィクトリーナ姫路の 2 軍）と神戸

新和大学の選手たちの連携がうまくかみ合ったことで、良い結果につながったのではないかと思います。少年女子は、近畿地区から3チームが出場可能であり、大阪府と京都府の私立単独チームは強豪で、本県の実力から考えると通常は3位または4位といった状況です。本県は選抜チームを結成し、県内予選で優勝したチームに加え、さらに1～2名を選抜する形を取ってきました。今年から初めて、予選で優勝したチームに加え、県内の他のチームから優秀な選手を補強しました。その結果、近畿ブロックを通過し、5位入賞という成果を残すことができました。少年女子の監督からは、引き続きさまざまなチームから優秀な選手を選抜し、強化されたチーム作りを進めていきたいという意向を伺っています。ただし、兵庫県では選抜方式を取る際にメンバーの集まりが難しく、近畿予選までにチームをまとめるのが困難な課題もありますが、今後も選抜チームで挑み、さらに良い結果を目指していきたいと考えています。

今井理事長

皆様ありがとうございました。続いて、今回の大会から、国体は「国スポ」へと名称が変更され、開会式の形態などにもいくつか変更が見られました。これを受け、開会式にご出席いただいた理事の皆様からコメントをいただきたいと思います。中西副会長、尾山副会長、木村副会長の順でコメントをお願いします。

中西副会長

競技力向上の観点では、今井理事長の冒頭の挨拶や、船田専務理事の熱いお言葉にもありましたが、各競技団体の取り組みがその中心にあると考えています。また、先ほど杉本副会長からもお話があったように、「応援」も重要な要素の一つです。私たち自身が選手を激励し、応援に行くことも、競技力向上を支える大切な活動だと思います。各競技団体は、それぞれ全力を尽くして競技力向上に取り組んでいます。その方法や取り組み方はさまざまですが、結果として成果を上げた団体、まだこれからの団体、それぞれが努力している姿勢が感じられます。また、先ほど松本理事からもお話がありましたが、社会人選手の育成を目指してチームを結成し、選手育成に力を入れている事例もあります。

また、現在行っている取り組みをただ継続するだけでなく、新しい発想の取り組みも必要だと感じています。考えもしなかったことを考える、挑戦する姿勢が重要です。事務所も移転され新しい環境が整っているかと思いますので、この機会を活かして新しいアイデアや知恵を生み出していくことが重要でないかと思います。

尾山副会長

現在、日本スポーツ用品工業協会の会長として、全中、インターハイ、国スポにおける各地域の小売店の出店場所の調整やアレンジを行っています。これらの大会では、現地でTシャツなどのお土産を購入する需要が見込まれていますが、全中では9競技が廃止された影響で、売上の減少が予想されています。

また、今年のインターハイは5県で開催されるため、メーカーとして各県に人員を派遣する必要があります。しかし、課題も多く見込まれるため、インターネット販売への移行を提案しています。

国スポ改革については、今回の改革には多くの有識者が参加しており、実践的な視点と理論的なアプローチが融合した改革が期待されています。兵庫県はスポーツの強い県ではありますが、国スポへの参加が選手の疲労を招き、結果的に世界選手権で十分な成果を上げられないケースも見られますので、無理をさせない運営の在り方も検討するべきではないかと考えています。現時点での情報では、国スポの通年開催や各都道府県による持ち回り方式が検討されているようです。有識者会議の結果は3月に発表される予定とのことですので、引き続き注視していきたいと思います。

木村副会長

今年初めて国スポの開会式に参加させていただきました。開会式では、非常にワクワク感に溢れる賑わい作りが印象的で、多くの工夫が凝らされていると感じました。参加した選手の皆さんも、スポーツの楽しさを存分に感じる事ができたのではないかと思います。

一方で、競技については、各理事の皆様がおっしゃったとおり、選手たちは全力を尽くし、勝利を目指して懸命に頑張っていたと思います。その中で、「どう支えるのか」「どうつなげていくのか」「どのようにつながっていくのか」といった点が、今後の重要な課題であると感じました。

また、国スポの在り方がどのような形に変わっていくのかが注目される場所ですが、県としては、スポーツの持つ力を活用し、地域の賑わい作りや産業の振興に一層取り組んでいきたいと考えています。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

今井理事長

皆様、ご意見、有益な情報をありがとうございました。

(2) 事務所移転の進捗状況について

特記事項なし

(3) 交流スペースのご案内について

池田理事

可能であれば土日の利用をお願いしたいのですが。

内堀専務理事

土日利用となると職員の出勤が必要となるため、難しい状況です。そのため、平日の利用をお願いできれば幸いです。

今井理事長

協会と共催で使用する場合については、検討の余地があるかと思いますが、個別にご相談いただければと思います。

5 その他

土橋理事

報道でも取り上げられている通り、アイスホッケーのプロチーム「STARS KOBE」が発足し、アジアリーグへの参加を目指しています。試合の拠点は、尼崎とポーアイのリンクであると聞いております。また、練習の拠点としては、HAT 神戸に新たに設置されるリンクの予定です。今後、何か新しい情報がありましたら、随時提供させていただきますので、ご協力お願いします。

以上